

■金沢駅(兼六園口/東口)から金沢大学 角間キャンパスまでのアクセス

[北陸鉄道バス利用の場合] 北陸鉄道株式会社 路線バス
角間キャンパス(バス停:金沢大学自然研前)まで
[93] [94] [97]金沢大学行き(兼六園下経由) JR金沢駅から約35分



■各方面から金沢までのアクセス ※コロナ禍で減便中であり、実際のダイヤ等は各交通機関のWebサイトで確認してください。

東京/長野方面から	飛行機	[羽田] - [小松]	1日10便	1時間	※小松空港-金沢駅高速バス40分
	JR	[東京] - [金沢]	《北陸新幹線かがやき》	2時間28分	※富山-金沢18分
	JR	[長野] - [金沢]	《北陸新幹線かがやき》	1時間6分	
	高速バス	[東京] - [金沢]	1日2便	8時間	
大阪/京都方面から	JR	[京都] - [金沢]	《特急サンダーバード》	2時間13分	※福井-金沢43分
	JR	[大阪] - [金沢]	《特急サンダーバード》	2時間30分	
名古屋方面から	JR	[名古屋] - [金沢]	《特急しらさぎ》	3時間	※新幹線乗換 2時間30分
	高速バス	[名古屋] - [金沢]	1日11便	4時間	
その他の方面から	飛行機	[札幌、福岡、那覇] - [小松]			
	高速バス	[新潟、高山、富山、他] - [金沢]			

北陸新幹線は
令和5(2023)年度末
金沢-敦賀間開業予定

まちなかの
演習拠点

金沢大学融合学域まちなか拠点として、金沢市から
「金沢未来のまち創造館」内に研究室の貸与を受けており、
地域社会や産業界に貢献する価値創造事業の学修を展開します。



[写真提供] 金沢市



融合系事務部学生課

〒920-1192 石川県金沢市角間町

E-mail: new-gakuiki@adm.kanazawa-u.ac.jp

Tel : 076-264-5910 Fax: 076-264-5899



融合学域
Webサイト



金沢大学入試情報アプリ

今すぐ
ダウンロード!



入試情報



R4 Ver.2
2022.6

金沢大学
融合学域
R4 Ver.2

先導学類
観光デザイン学類
スマート創成科学類(仮称)

新しい知識との出会いが、
挑戦できるチャンスが、ここにある。
多角的に見渡せる視野を身に付け、
広く深い知識を翼に変えて、
目の前に広がる空へ飛び立とう。
空にはボーダーラインなんかない。
限界も可能性も、
自分で変えられる。
未来を想像するんじゃなく、
ここから創造しよう。

自分を変える、
未来も変える

先導学類 R3 設置
観光デザイン学類 R4 設置
スマート創成科学類(仮称) R5 設置申請中

新たな世界を切り開く 「未来知」の創造へ

現代は、AI、ロボット技術の進展、デジタルトランスフォーメーション(DX)による産業構造の変化が加速しています。日本でも仮想空間と現実を融合した「超スマート社会Society 5.0」の実現による経済発展と社会課題解決の未来図が描かれています。一方、人間活動に伴い引き起こされる地球規模の諸問題に対しSDGsが提唱され、人類社会の「持続可能な開発」に向けた様々な取り組みが国際社会全体で行われています。

本学は金沢大学憲章に謳う「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を基本理念とし、社会からの要請に対して公共性を重んじ、これまで以上に重要な役割を果たす責務があります。世界中が急激に変化する中、金沢大学は希望ある社会に向けて、文理融合の「総合知」により現代の課題解決を先導するとともに、未来の課題を探求し克服する知恵である「未来知」を創造し、国際社会の中核的リーダーとなる「金沢大学ブランド」人材を育成してまいります。

模範解答のない社会で未来を切り拓いていくために、令和3(2021)年4月には、Society 5.0に対応した文理融合教育の拠点として、新たな学域である「融合学域」を創設し、従来の常識や殻を破り、社会を変革し、新たな未来を切り拓く人材の養成を目指し、先導学類をスタートさせました。令和4(2022)年4月には、同学域に、従来の観光学とは異なる新たな価値デザイン社会を創造する人材の養成を目指し、観光デザイン学類を新設しました。さらに令和5(2023)年4月には、持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する人材の養成を目指し、スマート創成科学類(仮称)の設置を申請しています。

分野融合型のリベラルアーツ教育やSTEAM教育を強化するとともに、幅広い教養を身につけながら専門性をさらに高められるよう、学生自身が「自ら学び自ら育む」ことができる教育環境の構築を進めています。また、在学中に一度は海外留学や産業界でのインターンシップ等の「他流試合」を経験し、ダイバーシティ環境や多様な条件の下で最新の知見や他者との共創を経験してほしいと思います。



金沢大学長
和田 隆志

文理融合教育からイノベーションへ

融合学域は、金沢大学の4番目の学域として令和3年4月に創設されました。発足は4番目ですが、学則上は1番目に記載しています。これは、この学域に賭ける山崎前学長の意気込みの強さと金沢大学の期待の大きさを表しています。

この学域は、停滞した現在の日本社会を変革する志に基づいて、従来の学問領域に囚われないイノベーションの創出を目的としています。併せて、文理融合の専門的知識を修め、課題発見と解決モデルを提示することで、地域と世界に貢献することを理念とし、知識基盤社会で中核的リーダーシップを発揮できるイノベーション人材の養成を目標としています。

この学域のキーワードは、文理融合(異分野融合)、イノベーション、アントレプレナーシップ、デザイン思考、そして多様性です。

文理融合など「机上の空論」であり、文理融合教育は、両分野の研究者を寄せ集めたに過ぎないという批判があることは確かです。こうした批判は、柔軟な考え方(創造的なマインドセット)を基本とする思考からは生まれません。われわれは、学内から自薦・他薦を問わず、異分野に挑戦することを厭わない多様な人材を選び抜き、学外からも有望な人材を集めて教員組織を創り、アントレプレナー教育をイノベーションの一手段として出発しました。

かつてJapan as Number Oneと言われた時代もありました。しかし、日本の国際的な地位は、最近20年で大幅に低下しており、新型コロナウイルス感染症を経験した世界では、日本経済の貧困化がさらに進み、日本は先進国の地位からも脱落してしまうという指摘があります。これは、1990年代後半からイノベーションが停滞し、優れた製品やサービスを生み出せなくなってしまったことが原因です。われわれは、この日本の現状を打破する教育・研究の展開を目指さねばなりません。



融合学域長・融合研究域長
大竹 茂樹

何のために何を学ぶか

融合学域先導学類は、令和3年4月に創設されました。融合学域という学域名からは文系・理系の科目の幅広い学びを連想する方もいるかもしれませんが、本学類でも人文科学・社会科学・自然科学等の多様な分野の知見や科学技術を広く学んでいきます。ただし、ここで求められているのは幅広い知識の修得というものではありません。重要なのは「何のために何を学ぶか」なのです。

これからの社会でどのような課題が生じるのか、それを発見し、対応する力はますます必要になってきます。一方で複雑化・多様化する未来の課題に対応するためには、これまでの学びでは足りません。既存の学問領域あるいは成果を融合させ、新たな価値を創り出していくことが求められるのです。そこで学生たちは自身の掲げた課題を解決するために必要な学びは何か、いわゆるバックキャストिंग学修として文系・理系を問わず必要な分野を学んでいき、異分野を融合して課題解決に実践的に取り組んでいきます。

本学類では、各界で未踏のイノベーションの創成をリードする社会変革人材の養成を目指しており、それを実現させるカリキュラムも組まれています。アントレプレナー関連科目や実践型演習、国際インターンシップ(もしくは海外実践留学)等の必修科目もあります。それらの学びを通して、多様な人・価値観に触れ、国際社会で積極的に発信する力、主体的に挑戦していく力を養っていきます。

先導学類の学生は全国各地から意欲ある学生が多く集まっています。互いに刺激しあって切磋琢磨しながら、社会変革を「先導」していく力をつけて世に出ていきます。

社会を変えてみたい、新しいことをやってみたいというあなた。融合学域で、自分を変え、未来も変えてみませんか。文理融合の学びから新しい社会と未来を創っていきましょう。



先導学類長・融合科学系長
尾島 恭子

観光のイノベーションに向けて

融合学域観光デザイン学類は、先導学類に続いて令和4年4月に創設されました。ここ数年、感染症のパンデミックや国際紛争の勃発などで、世界は危うく不安定になっていますが、それに関わらず、移動して共感を求める人々のニーズには底堅いものがあります。多様な人々が集い、語らい、理解し合う平和で持続可能な社会を実現する上で、観光は大事な要素の1つです。

観光デザイン学類では、世界と地域をつなぐ架け橋として、新しい観光のイノベーションを担う人材を育てたいと考えています。現代では、移動手段やコミュニケーション・ツールが発達し、「旅」の姿も大きく変わろうとしています。名所でも何でもない普通の場合が、ストーリー次第で驚くほどの人を集める現象があります。また、あちこち移動しながら仕事をするができるようになりました。逆に、移動せずに、ヴァーチャルに観光地を楽しむことも可能です。これらは、人々の暮らし方を変え、新しいサービスやビジネスを生み出すと同時に、新しい社会課題も生み出すでしょう。

本学類の特徴の1つは、文理融合型教育にあります。人文科学、社会科学、自然科学を組み合わせ、プロジェクトを企画・実行できる力を磨きます。これからの観光をデザインするには、数理・データ解析、デザイン力、ビジネススキルなどが必要です。その全てに精通しなくても、それぞれの専門的な役割を知って、それらを組み合わせるマネジメントする方法を学びます。

本学類のもう1つの特徴は、学年の早い段階から実践的な科目を重視していることです。地域の観光プロジェクトに直接携わりながら、専門的知識と現場的知識を組み合わせ課題解決に取り組む訓練をします。学生たちには、北陸・金沢の観光資源にあふれた地域フィールドを十分に活用した学習を体験してもらい、地域の観光イノベーションの実践者になってもらいたいと考えています。



観光デザイン学類長
佐無田 光

学士課程の教育組織

融合学域 文理にとらわれない
(新学域・新学類)として拡充

先導学類 [令和3(2021)年設置]
観光デザイン学類 [令和4(2022)年設置]
スマート創成科学類(仮称) **令和5(2023)年設置申請中**

多様な分野やシステムを融合的・統合的に学修し、
イノベーションをリードする人材を育成

■融合学域イメージカラー「千草色」
●千草(千種)は「様々な種類が多い」など「多様であること」を意味する
●染物の技術では重ね染めの下地色として使われた、つまり「土台」の色

人間社会学域

- 人文学類
- 法学類
- 経済学類
- 学校教育学類
- 共同教員養成課程
- 地域創造学類
- 国際学類

理工学域

- 数物科学類
- 物質化学類
- 機械工学類
- フロンティア工学類
- 電子情報通信学類
- 地球社会基盤学類
- 生命理工学類

医薬保健学域

- 医学類 [6年制]
- 薬学類 [6年制]
- 医薬科学類
- 保健学類 / 5専攻
- 看護学専攻
- 診療放射線技術学専攻
- 検査技術科学専攻
- 理学療法学専攻
- 作業療法学専攻

以上
4学域20学類

INDEX

ご挨拶	1
学域紹介	3
学生指導体制	4
入試情報	5
入試結果	8
金沢ガイド	21
融合学域専任教員(予定者を含む)	27
ACCESS/まちなかの演習拠点	31

先導学類	
先導学類とは	11
3つの特長	12
学修マップ	13
カリキュラム	14
学生インタビュー	15

観光デザイン学類	
観光デザイン学類とは	17
3つの特長	18
学修マップ	19
カリキュラム	20
学生インタビュー	21

スマート創成科学類(仮称)	
スマート創成科学類(仮称)とは	23
3つの特長	24
学修マップ	25
カリキュラム	26

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

融合学域

College of Transdisciplinary Sciences for Innovation

先導学類 令和3(2021)年4月設置
 観光デザイン学類 令和4(2022)年4月設置
 スマート創成科学類(仮称) 令和5(2023)年4月設置(申請中)

文理融合の知識を基に、 イノベーションをリードする

「融合学域」は令和3(2021)年4月に誕生した新しい学域です。
 「融合学域」は、広範な分野にわたる教養と文理融合の知見を醸成し、
 課題発見・解決の知を展開することで、地域と世界に貢献することを理念とし、
 知識集約型社会で中核的リーダーシップを発揮できるイノベーション人材の養成を目的としています。

令和3年度には先導学類へ、令和4年度には観光デザイン学類へそれぞれ初年度入学者を受け入れ、
 令和5年度には、第3の学類、スマート創成科学類の設置を申請しています。
 さらに、3年次編入学者の受け入れや接続する大学院の設置など、新たな展開を構想中です。

融合学域の特長 － 総合知でヒト・コト・モノをつなぎ未来を創る －

▶ 文理融合カリキュラム体系で多様かつ最新の専門知識を身に付ける

- 偏りのない文理融合カリキュラム体系で、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学びます。
- 3つのコアエリアの授業科目を並行学修し、未来課題を幅広く学びながら自身の課題の方向性を決定します。
- オーダーメイド型の履修指導に基づき、3つのコアエリアの配置科目と2つの探求エリアを往還的に学修しながら、自身の課題解決の糸口を求めて多様な分野を探求します。
- 学修を深めて必要性を感じたタイミングで、いつでも各エリアに戻って学修できる、「バックカスティング学修」を導入しています。
- 社会実装を見据え、STEAM教育や数理・データサイエンス・AI教育の実践により異分野融合教育モデルを構築・拡大していきます。

▶ 共通教育や専門教育のグローバルスタンダードから、他の3学域や学外をも広範に捉える

- 1年次当初から【金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)】に基づく共通教育科目と
 本学及び融合学域における土台の授業科目を、並行して効果的に学びます。

【金沢大学<グローバル>スタンダード】
 金沢大学独自の人材育成基準（6つの学修成果）



1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む
6. 新しい社会を生きる

- 基幹教育特設プログラム「総合地域論」、データサイエンス特別プログラム、先導STEAM人材育成プログラム等、
 ダブルメジャーに資する連携プログラムも学べます。
- 2年次には一括入試入学者が、3年次には編入学試験合格者が、それぞれ融合学域学生に加わり、
 ダイバーシティ環境がより豊かになり、共修の幅が広がります。国費外国人留学生優先配置プログラムの採択も受けました。

▶ 多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学ぶ

- 2年次半ばから、身に付けた知見を連携・融合し、自身の設定した課題解決や多様なインターンシップ等による実証実験・
 社会実装プロジェクト等の立ち上げに挑戦できます。
- 鍛錬科目では、プロジェクト実践型演習を課し、ダイバーシティ環境や多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学びます。
- 学生自らが企画・立案し、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象に自由な発想で教員や学外者と共にアプローチし、
 より実践的に学びます。
- 学修をさらに深めたい学生、未来の選択肢を広げたい学生に資するために、新たな大学院の設置も構想しています。

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

融合学域では、文理融合の多彩な授業科目から、個人に最適な履修科目を選定するため、教員による手厚い履修指導を行います。
 学生と教員等との協働の場として、毎年次 **ガイダンス** を開催し、未来課題の方向性と課題解決の糸口を結び付けながら、
 学生の出口志向等を見据えたオーダーメイド型の「**学びの計画書**」を作成していきます。

入学ガイダンス	入学時	入学者対象の、履修ガイダンス及び学類オリエンテーションを行います。
基盤ガイダンス	1年次	クラスごとに配置する指導教員から、履修方法や正課外での活動を含む教務・学生生活全般にわたる指導を受けます。クォーターごとに成績通知も行います。
融合ガイダンス	2年次	各学生の共通教育科目における履修状況や学修進度等を踏まえ、オーダーメイド型の「 学びの計画書Ⅰ 」を作成します。体系化した学びから課題を設定し、教員のアドバイスにより自身の将来像を明確にしていきます。
探求ガイダンス	3年次	コアエリアにおける履修状況や学修進度、未来課題設定に向けた方向性等を踏まえ、「 学びの計画書Ⅱ 」を作成します。必要に応じて他学類開講科目の履修や、基礎的な知見を身につけるためのバックカスティング学修*を取り入れます。教員の指導による、多様な分野の学びも未来課題設定につながります。
確立ガイダンス	4年次	指導教員と「 学びの計画書Ⅰ・Ⅱ 」の進捗を確認するとともに、個人の学びに応じてバックカスティング学修*や他学類開講科目等も含めて履修を指導します。さらに、卒業研究・演習・試験に関し、必要に応じて指導教員とは異なる分野の専門家や企業家からの指導も受けられるようアドバイスします。

*バックカスティング学修：未来の社会で活躍する理想の自分を思い描いたとき、学び足りないと感じる分野が出てくる場合もあります。そんな時、本学域では学知フェーズへ進んだ後でも、立ち戻って専門基礎科目を学ぶことができます。

他にも相談・支援・指導を受けられる部署や機会を多数準備し、他学域教員や、
 ● 学生支援課キャリア支援室：キャリアコンサルタントやキャリア・産業カウンセラー、産業界や学外経験者が、
 ● 保健管理センター：フィジカルやメンタルの相談に医師・公認心理師・保健師・看護師が、
 ● その他に、なんでも相談室(主に1年次)、障がい学生支援室のメンバーや融合系事務部の事務職員が、貴方を待っています。

外国人留学生の日本就職促進

日本での就職を目指す外国人留学生には、入学時からビジネス活用や日本語能力獲得を重視しながら
 融合学域の教育課程を学修する「文理融合の地方創生イノベーションを共修するブリッジングプログラム」を指導し、
 学費免除や給付型奨学制度、学生・留学生宿舍費助成等の手厚い学生生活支援を設けています。

進学・就職状況(令和3年度4年制学士課程卒業者)

融合学域は、令和3年度に全く新しく設置した学域・学類で、前身の組織を有していないため、
 本学の既存3学域15学類の実績を掲載します。6年制学士課程卒業者(医学類111名・薬学類34名)計145名は含みません。

区 分		人間社会学域	理工学域	医薬保健学域	合 計
卒業者(4年制)		777	623	250	1,650
大学院進学者(別科等を含む)		5.7%・44	69.3%・432	34.8%・87	34.1%・563
就職者 就職率 98.2% (決定者/希望者)	産 業 界	395	130	69	594
	公 務 系・教 員 等	263	39	87	389
	起 業・自 営 等	20	1	1	22
	就 職 者 計	87.3%・678	27.3%・170	62.8%・157	60.9%・1,005
その他(試験準備・帰国者・研究生等を含む)		55	21	6	5.0%・82

◆融合学域では、初年度入学者の卒業時期に合わせて、大学院を設置する構想もあります。

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

令和5年度入学者選抜(一般選抜・前期日程)に関わる実施教科・科目等(実施教科・科目)

令和4年5月現在

学域	入試区分	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		学域	入試区分	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等			教科等	科目名等		
融合学域	国語	国語	必須	国語	国語総合	融合学域	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
		世界史B 日本史B 地理B	『地理歴史』から2科目、または、『地理歴史』から1科目及び『公民』から1科目	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B			地理歴史	世界史B 日本史B 地理B		から1科目
	公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理・政治・経済	『地理歴史』から1科目及び『公民』から1科目	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		公民		現代社会 倫理 政治・経済 倫理・政治・経済	から1科目	外国語
		数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	必須 から1科目		理科			物理 化学 生物 地学	から2科目		
	外国語	英語(注1) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	から1科目	【文系傾斜・個別学力検査等 受験科目】 ※1 先導学類:「国語総合」は必須、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」、「総合問題」の中から1科目選択 ・観光デザイン学類及びスマート創成科学類(仮称):「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」は必須、「国語総合」、「総合問題」の中から1科目選択			外国語	英語(注1) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	から1科目		

令和5年度入学者選抜(一般選抜・前期日程)に関わる実施教科・科目等(配点一覧表)

令和4年5月現在

1. 文系傾斜

先導学類

試験区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等							配点合計
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	
共通テスト	100	100(50×2)		100	100	100		500
個別学力検査等	200			200(選択)		400	200(選択)	800
計(数学選択)	300	100		300	100	500		1300
計(総合問題選択)	300	100		100	100	500	200	1300

スマート創成科学類(仮称)

試験区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等							配点合計
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	
共通テスト	100	100(50×2)		100	100	100		500
個別学力検査等(国語傾斜)	250(*)			350		200(*)	250(*)	800
個別学力検査等(英語傾斜)	200(*)			350		250(*)	200(*)	800
計(国語傾斜)	350	100		450	100	300		1300
計(英語傾斜)	100	100		450	100	300	250	1300
計(英語傾斜)	300	100		450	100	350		1300
計(英語傾斜)	100	100		450	100	350	200	1300

観光デザイン学類

試験区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等							配点合計
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	
共通テスト	100	100(50×2)		100	50	100		450
個別学力検査等(国語傾斜)	300(*)			150(*)		400	300(*)	850
個別学力検査等(数学傾斜)	150(*)			300(*)		400	150(*)	850
計(国語傾斜)	400	100		250	50	500		1300
計(数学傾斜)	100	100		250	50	500	300	1300
計(数学傾斜)	250	100		400	50	500		1300
計(数学傾斜)	100	100		400	50	500	150	1300

【3学類共通 文系傾斜】注意事項

「理科」で3科目受験している場合(つまり、「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目)は、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い方の1科目(「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は2科目)の成績を用います。

【観光デザイン学類 文系傾斜】注意事項

*個別学力検査では、「国語又は総合問題」と「数学」の得点を比較して、高い方の満点を300点、低い方の満点を150点として換算します。

【スマート創成科学類(仮称) 文系傾斜】注意事項

*個別学力検査では、「国語又は総合問題」と「外国語」の得点を比較して、高い方の満点を250点、低い方の満点を200点として換算します。

2. 理系傾斜

先導学類・観光デザイン学類・スマート創成科学類(仮称)

試験区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等							配点合計
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	
共通テスト	100	50(50×1)		100	100	100		450
個別学力検査等				400	250	200		850
計	100	50		500	350	300		1300

3. 融合学域共通の注意

(注1) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験で一定以上のスコア※の場合、スコアの提出を認めます。対象とする英語外部試験は、ケンブリッジ英語検定(リンガスキル含む)、実用英語技能検定、GTEC(CBT)、IELTS、TEAP(4技能又はCBT)、TOEFL iBT(Home Editionを含む)です。これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い、大学入学共通テストの「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。
※本学が求める一定以上のスコア:ケンブリッジ英語検定:140、実用英語技能検定:1950、GTEC(CBT)960、IELTS:4.0、TEAP(4技能):225、TEAP(CBT):420、TOEFL iBT:42※※
※※Test Date Scoreのみ認めます。My Best Scoreは認めません。

【KUGS特別入試

本学は、自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的リーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていく「金沢大学ブランド」人材の育成を教育目標としており、これを実現するために6つの能力からなる金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)を定めています。「KUGS特別入試」では、本学が提供する「KUGS高大接続プログラム」を受講した高校生などが、当該プログラムで課される課題レポートと、高等学校等での探究的な学びや課題意識を持って取り組んだ各種活動に関する課題レポートを提出し、KUGSに基づく評価基準で評価を受け、基準を満たした場合又は国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した場合(大学等が開講するグローバルサイエンスキャンパス事業によるプログラムにより一次選抜後に受講者を育成する二次選抜までの育成プログラムを修了した場合)に出願資格を与えます。入試では入学を希望する学類の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、口述試験や小論文などにより「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

【超然特別入試

「超然特別入試」には、(1)A-lympiad(エーリンピアード)選抜I、(2)A-lympiad選抜II、(3)超然(ちょうぜん)文学選抜の3つの選抜があります。「超然特別入試」の選抜では、高等学校等在学中に本学が主催するコンテスト「日本数学A-lympiad」又は「超然文学賞」に応募し、所定の入賞実績を上げた場合に出願資格を与えます。「超然特別入試」は、入学を希望する学類の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、口述試験や小論文などにより志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

◆最新情報は、本学のWebサイト及び入試情報アプリで確認してください。

令和5年度入学者選抜の基本方針

令和4年6月現在(一部申請中)

【入学定員】 先導学類 55名 観光デザイン学類 20名 スマート創成科学類(仮称) 20名

1. 一般選抜

【前期日程/文系傾斜・理系傾斜

【募集人員】 先導学類 観光デザイン学類 スマート創成科学類(仮称)
【文系傾斜】20名 【理系傾斜】20名 【文系傾斜】12名 【理系傾斜】6名 【文系傾斜】6名 【理系傾斜】12名

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、先導学類では国語、英語に加え、数学又は総合問題を、観光デザイン学類及びスマート創成科学類(仮称)では数学、英語に加え、国語又は総合問題を課し、理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して、いずれも学力を多面的に評価します。合格者は学類ごとに発表します。

【前期日程/文系一括・理系一括

【募集人員(移行)】 先導学類 観光デザイン学類 スマート創成科学類(仮称)
【文系一括・理系一括】各3名 【文系一括・理系一括】各1名 【文系一括・理系一括】各1名

文系一括では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題(総合問題)の理解力・論理的思考力・表現力等を、理系一括では、数学及び英語の基礎学力に加え、物理又は化学の学力を、それぞれ重視します。なお、一括入試での入学者は、国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し、2年次進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、移行学類を決定します。

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

2. 特別選抜

KUGS特別入試 / 総合型選抜Ⅱ

募集人員 先導学類 6名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

基礎学力に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

KUGS特別入試 / 英語総合選抜Ⅱ

募集人員 先導学類 若干名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

基礎学力に加え、英語による総合的な課題(総合問題)、口述試験(プレゼンテーションを含む。)を課して、論理的思考力や国際的なコミュニケーション能力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を中心に多面的・総合的に判定します。

超然特別入試 / A-lympiad選抜Ⅰ

募集人員 先導学類 若干名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、多面的な質問を行い、数学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

超然特別入試 / 超然文学選抜

募集人員 先導学類 若干名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、多面的な質問を行い、文学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

在外留学生推薦入試

募集人員 先導学類 3名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、多面的な質問を行い、本学入学後の勉学意欲や学類への適性を総合的に評価します。

社会人選抜

募集人員 先導学類 若干名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価します。口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、多面的な質問を行い、勉学意欲や学類への適性を評価し、実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。

帰国生徒選抜

募集人員 先導学類 若干名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

国語、数学及び英語から2教科を課し、基礎学力を問うとともに、口述試験(プレゼンテーションを含む。)により理解度、勉学意欲、基本的知識等を多面的・総合的に評価します。

国際バカロレア入試

募集人員 先導学類 若干名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を、多面的・総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

募集人員 先導学類 若干名 観光デザイン学類 若干名 スマート創成科学類(仮称) 若干名

基礎学力を重視するとともに、口述試験(プレゼンテーションを含む。)により、コミュニケーション能力、勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を、多面的・総合的に評価します。

国費外国人留学生入試

- 【注意】
- 1 出願前には、必ず最新の情報を本学Webサイト及び学生募集要項で確認してください。
 - 2 特別選抜において、Ⅰは大学入学共通テストを課さない入試、Ⅱは大学入学共通テストを課す入試を指します。
 - 3 観光デザイン学類の入学定員当初案55名のうち40名と、スマート創成科学類(仮称)入学定員当初案80名のうち60名は、「令和5年度魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」に申請していましたが、これが認められなかったため「両学類とも入学定員を20名に減員」し、選抜ごとの募集人員は前述のとおりとします。なお、令和6年度以降の入学者選抜においては入学定員の変更(増員)を構想中です。

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

令和4年度先導学類入学者選抜試験 実施状況

令和4年4月現在

区 分		募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	競争倍率	辞退者	追加合格者	入学者
一般選抜	前期日程	文系傾斜	20	48	2.4	45	25	1.8	1	24
		理系傾斜	20	72	3.6	67	24	2.8	2	22
	一般 計	40	120	3.0	112	49	2.3	3	0	46
特別選抜	KUGS特別	総合型Ⅱ	6	4	0.7	4	4	1.0		4
		英語総合Ⅱ	若干名	0						0
	超然特別	A-lympiadⅠ	若干名	0						0
		超然文学	若干名	0						0
	在外留学生推薦	3	0	0.0						0
	社会人	若干名	1			1	1	1.0		1
帰国生徒	若干名	0							0	
国際バカロレア	若干名	0							0	
私費外国人留学生	若干名	7			3	1	3.0	1	0	
特別 計	-	12	-	-	8	6	1.3	1	0	5
合 計		49	132	-	120	55	2.2	4	0	51

※一括入試入学者(1年次は総合教育部所属)から6名が令和5年度に2年次に加わる予定。
編入学試験合格者から25名が令和6年度に3年次に加わる予定。

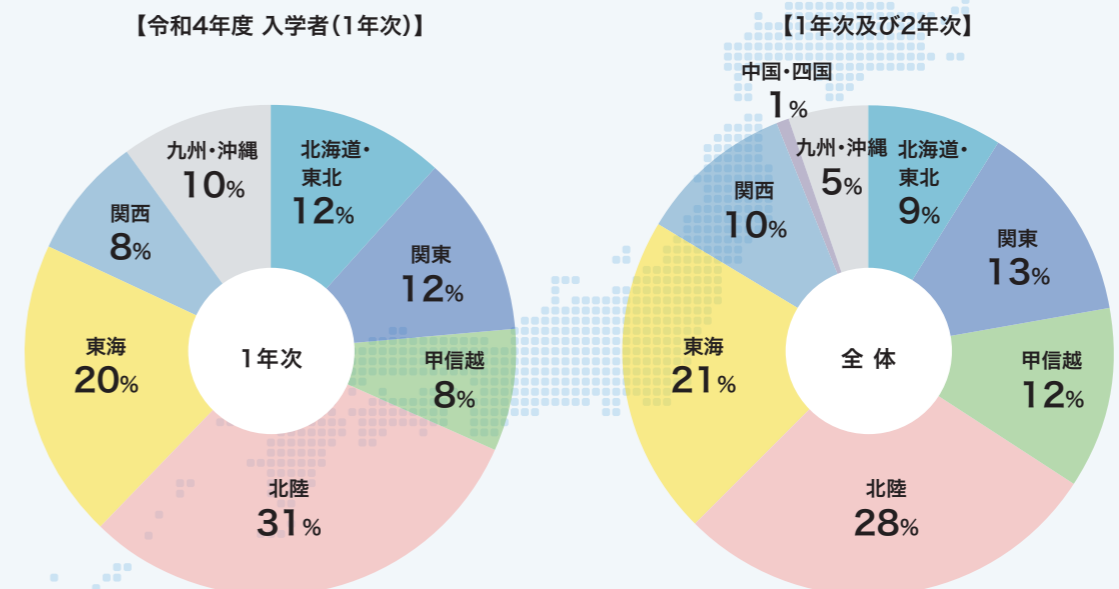
令和4年度先導学類入学者選抜試験 得点状況

令和4年4月現在

区 分	大学入学共通テスト				個別学力検査等				合 計					
	配点	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点		
一般選抜	前期日程	文系傾斜	500	383.00	321.50	344.3	800	592.00	474.00	516.8	1,300	927.30	813.50	861.1
		理系傾斜	450	324.50	241.50	278.7	850	699.50	544.00	605.6	1,300	1,012.00	818.50	884.3

※主体性等評価の得点は含まない。他の選抜分は、募集人員又は合格者のいずれかが10名未満のため、開示しない。

令和4年度先導学類学生 出身高校所在地



令和4年度観光デザイン学類入学者選抜試験 実施状況

令和4年4月現在

区分	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	競争倍率	辞退者	追加合格者	入学者	
一般選抜	前期日程	文系傾斜	8	24	3.0	21	9	2.3	1	8
		理系傾斜	5	15	3.0	14	5	2.8		5
	一般計	13	39	3.0	35	14	2.5	1	0	13
特別選抜	KUGS特別	総合型Ⅱ	若干名	2		2	2	1.0		2
		英語総合Ⅱ	若干名	1		1	1	1.0		1
	超然特別	A-lympiadⅠ	若干名	0						0
		超然文学	若干名	0						0
	在外留学生推薦	若干名	0						0	
	社会人	若干名	0						0	
	帰国生徒	若干名	0						0	
	国際バカロレア	若干名	0						0	
	私費外国人留学生	若干名	2		0	0	-			0
	特別計	-	5	-	3	3	1.0	0	0	3
	合計	13	44	-	38	17	2.2	1	0	16

※一括入試入学者(1年次は総合教育部所属)から2名が令和5年度に2年次に加わる予定。
編入学試験合格者から15名が令和6年度に3年次に加わる予定。

令和4年度観光デザイン学類入学者選抜試験 得点状況

募集人員または合格者のいずれかが10名未満のため、開示しない。

令和4年度観光デザイン学類入学者 出身高校所在地

観光デザイン学類入学者の出身地は、北陸地方出身者が半数、残りの半数は関東や東海、甲信越、関西、九州地方出身者です。



先導学類

Innovation in Society × Business

2021年4月 設置

社会変革を先導し
イノベーションの創成をリードする



令和3(2021)年 4月設置 融合学域 先導学類

School of Entrepreneurial and Innovation Studies, College of Transdisciplinary Sciences for Innovation

大きく変わろうとしているこれからの社会では、学問分野を問わず幅広い知見を備えた「社会変革を先導する中核的リーダー」となる人材が不可欠です。イノベーションの創成をリードする社会変革人材の育成を目指し、令和3(2021)年に融合学域先導学類を設置しました。

鍛練科目では、国際インターンシップと海外実践留学いずれかを必修とすることに加え、プロジェクト実践型演習を課し、ダイバーシティ環境や多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学びます。

また、学生自らが企画・立案し、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象に自由な発想で教員や学外者と共にアプローチし、より実践的に学ぶ環境もあります。

【一般選抜】
前期日程(文系傾斜、理系傾斜)、
前期日程(文系一括、理系一括)

【特別選抜】
KUGS特別(総合型II、英語総合II)、
超然特別(A-lympiad I、超然文学)、
在外留学生推薦、社会人、帰国生徒、
国際バカロレア、私費外国人留学生、
国費外国人留学生

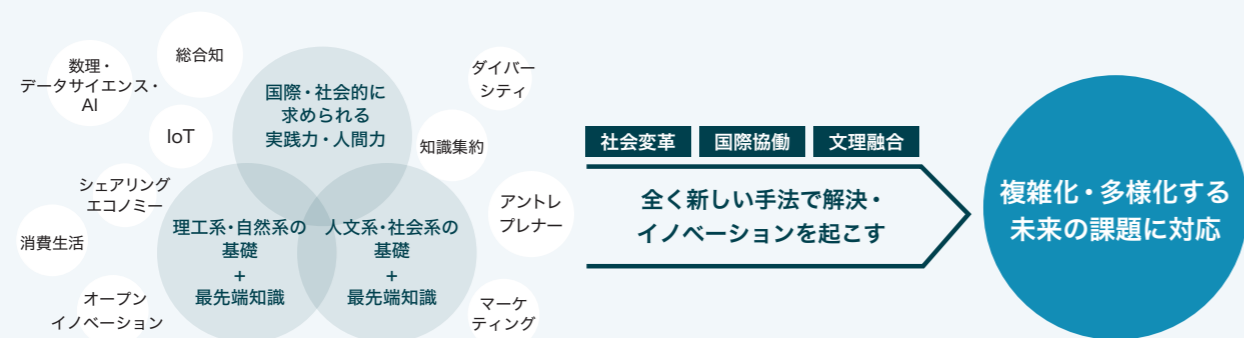
《先導学類》の養成する人材像

地球規模で急速に起こっている社会の変容や科学の進展を的確に踏まえた上で、表出する複層的な諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、新たな「知」を社会へ展開する意欲と素養を身に付けた社会変革を先導する人材の養成を目指しています。

【求める人材】

先導学類では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を連携・融合し、社会変革に資する新たな先導に挑戦したい人

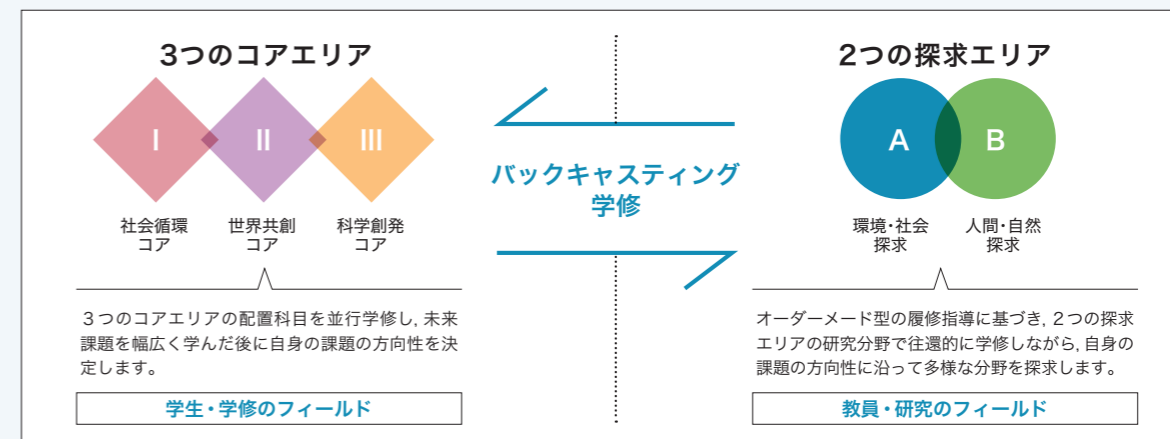


1 柔軟に学ぼう！ 文理融合エリアで基礎から展開力ある専門知識を身に付ける

- ▶ 1年次からコア科目の履修を開始し、「コアエリア×探求エリア」による学修を実践します。
- ▶ 偏りのない文理融合エリアのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

【コアエリア × 探求エリア】

基礎から体系的に学修しながら、先鋭的な学びも横断して学修できるカリキュラム。

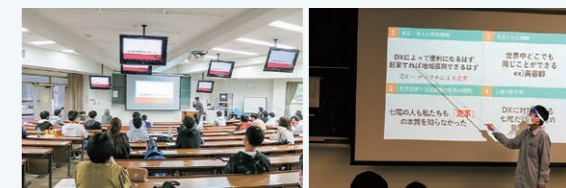


2 社会へ飛び出そう！ 多様な人々や価値観に触れ、人間力を鍛える

- ▶ 実践科目や鍛練科目を通じて、社会との共創を学びます。
- ▶ 1年次から産業界や地域の支援を受けた学修を進め、社会からも学びます。
- ▶ 2年次以上では、アントレプレナーインターンシップ・海外実践留学・国際インターンシップなど国内外への派遣を必修とし、社会に飛び出して沢山の経験を積み、実践力を身に付けます。

【アントレプレナーシップの養成】

産業界や地域と連携し、学内外で起業家精神や実践手法を学ぶ。



3 自ら実践しよう！ 未来の課題に取り組み、社会変革に踏み出す

- ▶ 3年次半ばから4年次には、身に付けた知見を連携・融合し、自身の設定した課題解決やインターンシップによる実証実験・社会実装プロジェクト等の立ち上げに挑戦できます。
- ▶ 産業界・金融機関を端緒としたプラットフォームでソリューションを実践的に学びます。

【プロジェクト実践型演習】

自らが設定した未来課題とその解決策について、より実践的なものとして深化させる。



先導学類の特色

【第5期科学技術基本計画(2016年1月)】

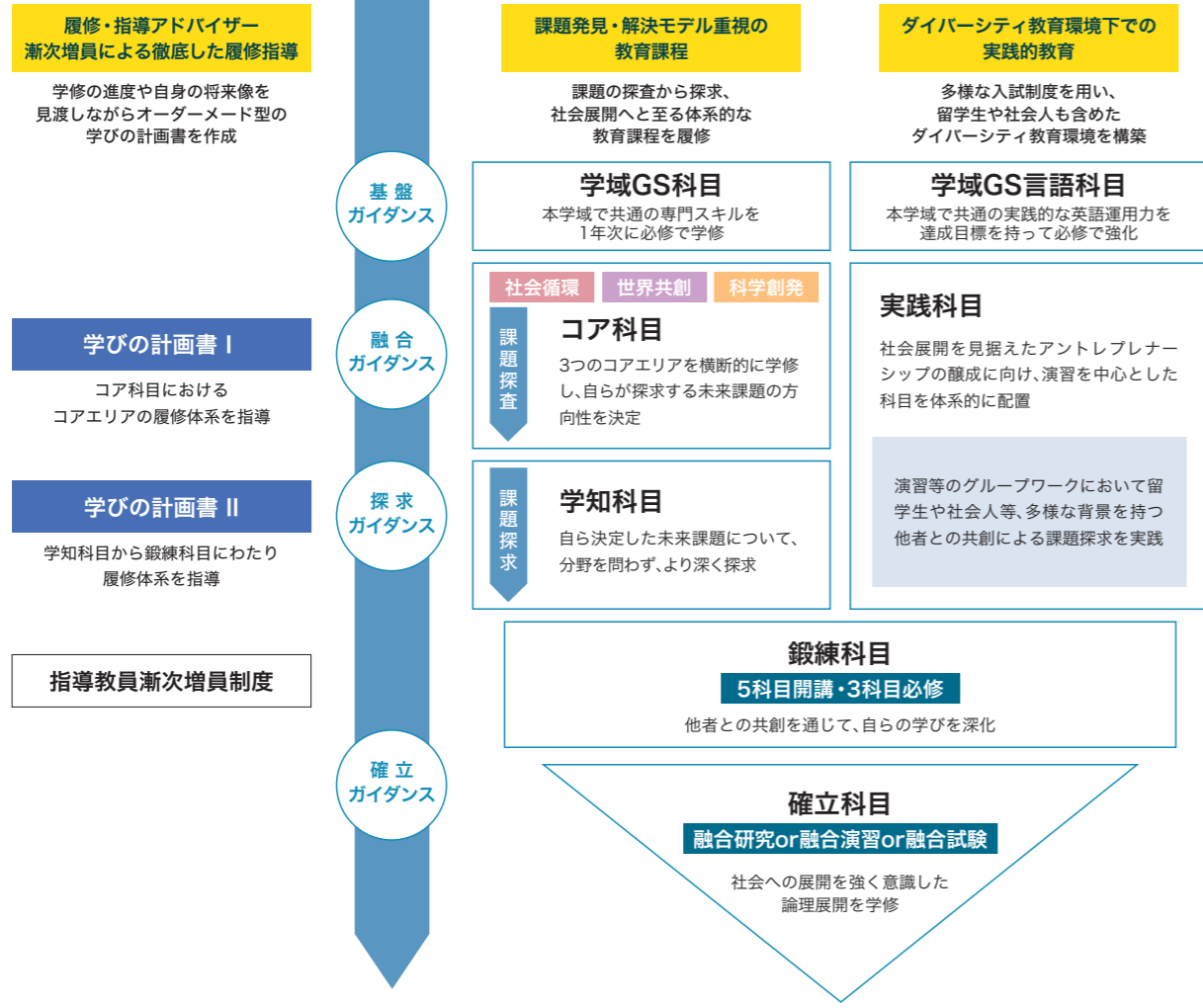
科学技術イノベーションを「科学的な発見や発明等による
新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造
と、それらの知識を進展させて**経済的・社会的・公共的
価値の創造**に結び付ける革新」と定義

【統合イノベーション戦略(2018年6月)】

科学技術イノベーションを生み出す人材を輩出するための教育システムの
構築は根本的な課題であり、**理工系と人文・社会系も含めた多様
な分野を融合する教育システムを構築**し、非理工系の知を科学技
術イノベーションに生かすにはどうすべきかについて検討する必要があります。

これらの国の提言等を踏まえ、**文理融合型教育**や**アントレプレナーシップ教育**を体系的に行い、**新たな社会変革の先導**に取り組みます。

【専門教育マップ】



融合した専門知と鋭敏な飛躍知を併せ持つ社会変革先導人材へ！

【先導学類卒業時に達成する学修成果】

- ・社会変革を先導するための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ひと・もの・ことに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・総合知を背景に課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・事業創造等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

【授与学位】

学士(学術)

多様な分野やシステムを
融合的・統合的に学修したことを示す
本学で本学域だけが授与する学位

社会変容を背景に、アントレプレナーシップ養成型の階層化した教育課程で、最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目 36単位以上

導入科目 | GS科目 | GS言語科目 | 基礎又は初習言語科目 | 自由履修科目

専門教育科目 88単位以上

学域GS科目 6単位 | アカデミックスキル | プレゼン・ディベート論 | イノベーション基礎
数理・データサイエンス基礎及び演習 | デザイン思考

学域GS言語科目 2単位 | 学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 | 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語

専門基礎科目

実践科目 10単位 | アントレプレナー基礎 | アントレプレナー演習Ⅰ | アントレプレナー演習Ⅱ
デザイン思考演習 | アントレプレナーインターンシップ | アントレプレナーコンテスト/リーダー養成
アントレプレナーコンテスト/実践リーダー

コア科目 18単位以上 社会循環コアエリア

ファイナンス基礎 AIと未来社会 倫理学	現代社会を知る 社会変動と労働生産性 シェアリングエコノミー	フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティと Society 5.0 消費生活論
----------------------------	--------------------------------------	---

世界共創コアエリア

ダイバーシティ促進 人の流動と定着 SDGs基礎	マーケティング基礎 異文化理解とキャリア開発 グローバルイノベーション	国際協力体制 国際世界と特許 ビジネスと政治・経済
--------------------------------	---	---------------------------------

科学創発コアエリア

テクノロジー基礎 数理統計学基礎 IoT技術	人工知能 社会的な視点から見る医療 生命科学的な視点から見る医療	世界変革技術論 世界の課題と技術トレンド 未来医科学
------------------------------	--	----------------------------------

専門科目

学知科目 30単位以上	先導数学 SDGs実践 マーケティング論 情報ネットワーク プロジェクト・マネジメント コンピュータとデジタル回路 生活デザイン論 超高齢社会と科学技術 アプリ開発 管理会計論 テクノロジーと医療・健康・介護 地域政策論 光学技術論 レギュラトリーサイエンス コンピュータと電子回路	先端医学 データサイエンス実践 経営管理論 心理学概論 医療制度改革と医療経済 都市・交通デザイン 知的財産法 地域包括ケアと地方創生 マテリアル科学 データベース論 プランニング最適化 未来型ヘルスケアシステム 地球環境論 AI・IoT健康福祉学 環境基礎科学	プログラミングスキル 需要予測 創業支援論 公共政策論 センシング論 ESG投資 生活環境学 経営戦略論 国際経営論 プレジジョンメディシン 比較制度論 機械学習 イノベーション・マネジメント フィジカル・ブレイン接続
-------------	---	---	--

鍛練科目 4単位 | 先導プロジェクト演習 | 海外実践留学 | 国際インターンシップ
学術考究 | 潜在課題探査分析

確立科目 8単位 | 融合研究 | 融合演習 | 融合試験

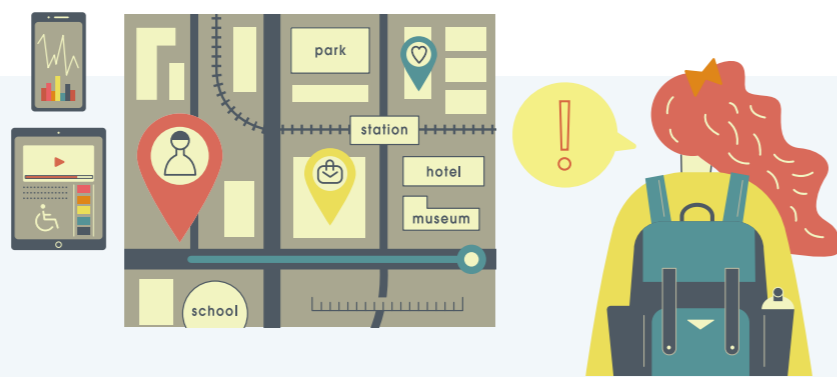
自主選択枠 10単位以上 【すべての専門教育科目から】

令和4(2022)年 4月

融合学域

観光デザイン学類

School of Tourism Sciences and Design, College of Transdisciplinary Sciences for Innovation



我が国の観光産業を牽引し、新たな観光価値を創出できる人材の養成に向け、融合学域に「観光デザイン学類」を設置しました。

人の心理・行動や地域の歴史・文化的価値を探究する人文科学的アプローチ、観光を基軸としたビジネスの展開を見据えた社会科学的アプローチ、Society 5.0を見据えた科学技術的アプローチを有機的に連携させながら、文理融合型の学びを通して観光価値の創出を目指します。

また、観光の広域・持続的な発展を重視し、各界が協働で取り組む地方創生プラットフォームの創設、観光価値をデザインする人材の育成と関係人口の拡大を通じて、新しい観光の価値創造と産業構造転換へ挑戦します。

【一般選抜】

前期日程(文系傾斜、理系傾斜)、
前期日程(文系一括、理系一括)

【特別選抜】

KUGS特別(総合型II、英語総合II)、
超然特別(A-lympiad I、超然文学)、
在外留学生推薦、社会人、帰国生徒、
国際バカロレア、私費外国人留学生、
国費外国人留学生

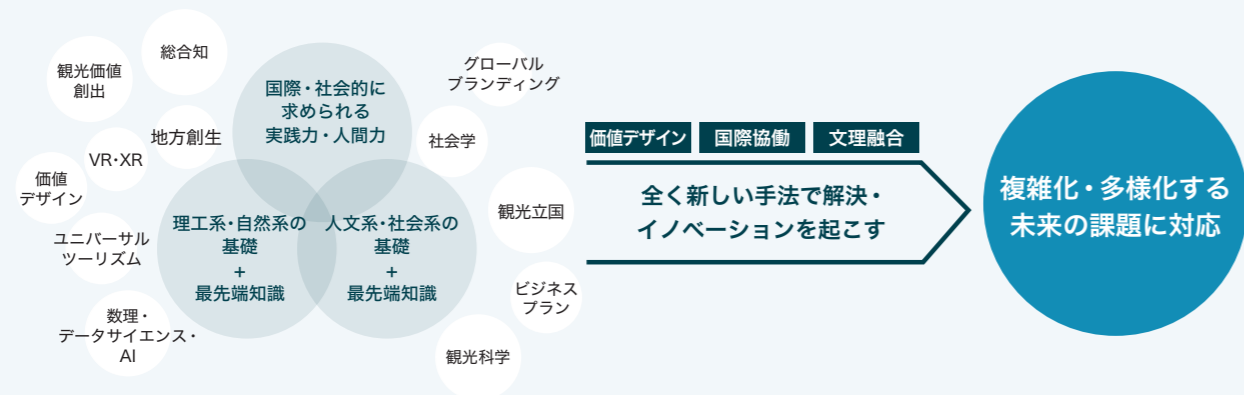
《観光デザイン学類》の養成する人材像

地球規模で急速に起こっている社会の変容や価値の共感を的確に踏まえた上で、我が国の観光産業の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、Society 5.0や新たな日常に対応し、多核連携型の国際観光立国を見据えた新たな観光価値をデザインする人材の養成を目指しています。

【求める人材】

観光デザイン学類では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を連携・融合し、観光に資する新たな価値創出に挑戦したい人



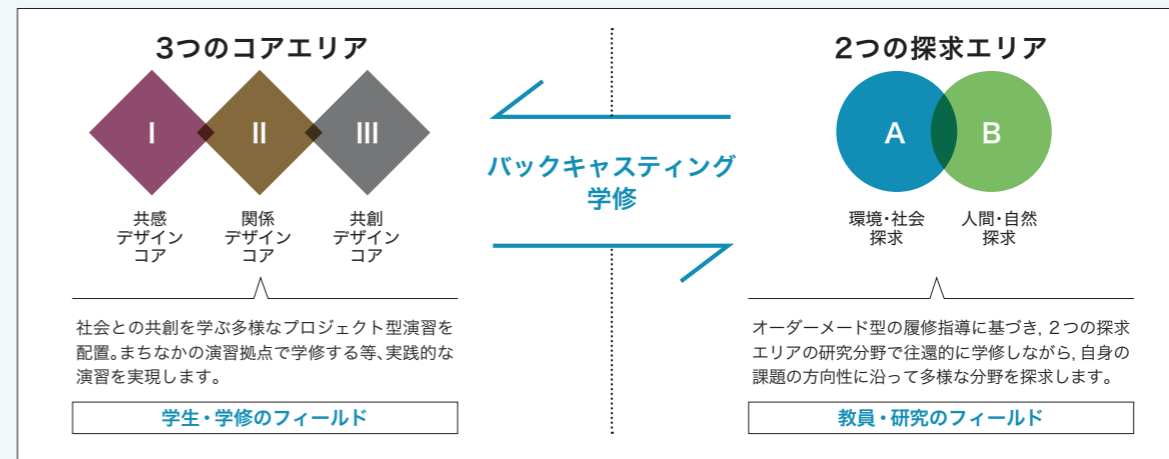
1 柔軟に学ぼう！ 文理融合で基礎から応用力ある専門知識を身に付ける

- ▶ 偏りのない文理融合エリアのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。
- ▶ 観光をはじめ、ビジネスやテクノロジーに関する基礎を人文科学・社会科学・自然科学の3つのアプローチで観光の基礎を学びます。
- ▶ 3つのコアエリアと2つの探求エリアを往還的に学び、自己の「問い」を深化させます。



【コアエリア × 探求エリア】

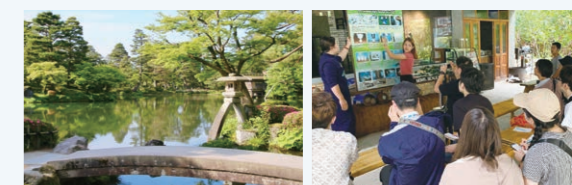
基礎から体系的に学修しながら、先鋭的な学びも横断して学修できるカリキュラム。



2 社会へ飛び出そう！ 多様なプロジェクト参画で社会との共創や実践力を学ぶ

- ▶ 実践科目や鍛練科目を通じて、社会との共創を学びます。
- ▶ まちなかの演習拠点でも、自治体や産業界と連携した学修を実践します。
- ▶ 観光ビジネス実践、観光実践留学、国際インターンシップから選択し、短期から長期にわたるプロジェクトを実践します。
- ▶ 専門知を基軸としながら、学生の自由な発想により、社会と共創した新しい観光価値を創出します。

【新機軸を打ち出す多様なプロジェクトに参画】



兼六園

国際インターンシップ

3 地方創生を考えよう！ 魅力ある観光の価値デザインを地域でのプレゼンスに活かす

- ▶ 地域×本学×産業のシナジー効果を見据え、これからの地方創生をデザインします。
- ▶ 地域の資源・課題・知見を活かして、思考・発想・実践を多面的に捉え、経済活性化・産業創出・振興及び温故知新を学びます。
- ▶ 石川県・金沢市を端緒としたプラットフォームでソリューションを実践的に学びます。
- ▶ 文理融合データ駆動型観光科学教育によるイノベーション創出の展開と普及にも取り組みます。



金箔工芸
(日本の金箔は金沢市が99%生産)
写真提供:金沢市

観光デザイン学類の特色

【経済財政運営と改革の基本方針2020(2020年7月)】
 ポストコロナ時代においてもインバウンドは大きな可能性があり、2030年に6000万人とする目標等の達成に向けて、**観光先進国を実現するために官民一体となって取り組む。**

【知的財産戦略ビジョン(2018年6月)】
 経済的価値にとどまらない多様な価値が包摂され、そこで多様な個性が多面的能力をフルに発揮しながら、「**日本の特徴**」をもうまく活用し、**様々な新しい価値を作って発信し、世界の共感を得る。**

これらの国の提言等を踏まえ、**文理融合型教育**や**アントレプレナーシップ教育**を体系的に行い、新たな観光デザインに取り組みます。

【専門教育マップ】

**履修・指導アドバイザー
漸次増員による徹底した履修指導**

学修の進度や自身の将来像を見渡しながらオーダーメイド型の学びの計画書を作成

基盤
ガイダンス

**課題発見・解決モデル重視の
教育課程**

課題の探査から探求、社会展開へと至る体系的な教育課程を履修

**ダイバーシティ教育環境下での
実践的教育**

多様な入試制度を用い、留学生や社会人も含めたダイバーシティ教育環境を構築

融合
ガイダンス

学域GS科目
 本学域で共通の専門スキルを1年次に必修で学修

学域GS言語科目
 本学域で共通の実践的な英語運用力を達成目標を持って必修で強化

基盤科目
 3つのアプローチで観光の基礎を学ぶ
 文理融合やバックキャスト型学修で観光をはじめビジネスやテクノロジーに関する基礎を幅広く学修

実践科目
 社会展開を見据えたアントレプレナーシップの醸成に向け、演習を中心とした科目を体系的に配置

探求
ガイダンス

共感デザイン 関係デザイン 共創デザイン
学知科目
 3つのコアエリアを往還的に学ぶ
 1つのコアエリアに主軸を置きながら他コアエリアを往還して学修

演習等のグループワークにおいて留学生や社会人等、多様な背景を持つ他者との共創による課題探求を実践

確立
ガイダンス

鍛錬科目
観光ビジネス実践・観光実践留学・国際インターンシップ
 社会実装型演習や海外での学修により実践力を練磨

確立科目
融合研究or融合演習or融合試験
 学修の集大成として自らが設定した課題に取り組みイノベーションを創成

学びの計画書 I
 基盤科目におけるアプローチで履修体系を指導

学びの計画書 II
 学知科目から鍛錬科目にわたる履修体系を指導

指導教員漸次増員制度

融合した専門知と鋭敏な飛躍知を併せ持つ観光価値創出人材へ！

【観光デザイン学類 卒業時に達成する学修成果】

- ・観光価値をデザインするための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ひと・もの・ことに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・総合知を背景に課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・価値創出等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

【授与学位】

学士(学術)

多様な分野やシステムを融合的・統合的に学修したことを示す本学で本学域だけが授与する学位

社会学を背景に、課題発見・解決・展開モデル型の階層化した教育課程で、最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目 36単位以上

導入科目 | GS科目 | GS言語科目 | 基礎又は初習言語科目 | 自由履修科目

専門教育科目 88単位以上

学域GS科目 6単位 アカデミックスキル 数理・データサイエンス基礎及び演習 プレゼン・ディベート論 デザイン思考 イノベーション基礎

学域GS言語科目 2単位 学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語

専門基礎科目

実践科目 13単位以上
 アントレプレナー基礎 観光DX・PBL演習Ⅰ ワークショップデザイン演習 ビジネスプラン作成演習 アプリ開発 観光プロジェクト演習Ⅱ
 アントレプレナー演習Ⅰ 観光DX・PBL演習Ⅱ 観光データ解析演習 地理情報システム演習 創生インターンシップ 観光プロジェクト演習Ⅲ
 アントレプレナー演習Ⅱ 観光調査法 形態・色彩デザイン論 プログラミングスキル 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅳ

基盤科目 19単位以上
 ホスピタリティ概論 観光デザイン学基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 観光倫理学 異文化理解とキャリア開発 北陸観光産業論 交流ネットワーク工学 北陸の農林水産・製造業 数理行動モデル基礎
 ファイナンス基礎 世界変革技術論 マーケティング基礎 観光の公衆衛生学 SDGs基礎 日本の工芸とデザイン ダイバーシティ促進 シェアリングエコノミー
 テクノロジー基礎 人工知能 超スマートシティとSociety 5.0 観光法制度論 数理統計学基礎 金融工学 北陸の都市・農村・文化 観光地域ビジネス論

専門科目

学知科目 26単位以上
共感デザインコアエリア
 エンタテインメントマネジメント論 文化と消費社会 比較地域発展論 無形文化遺産論 国際プロジェクトマネジメント・評価法 資源活用と環境共生 実践ブランディング
関係デザインコアエリア
 IoT技術 Web・クチコミ社会動向分析 情報政策論 時空間データ解析 交通工学 国際コンフリクト・マネジメント 需要予測
共創デザインコアエリア
 観光地経営論 観光開発・計画論 工業デザイン コミュニティ・デザイン論 都市計画 計画プロセス ホスピタリティ・マネジメント
 SDGs実践 持続的な観光 グローバルブランディング論 文化と地域経済 自然観光論 人間工学
 データサイエンス実践 観光データ解析応用 グローバル・アクセシビリティ論 知的財産法 観光VR・XR プランニング最適化
 文化観光論 伝統文化変容論 ヘリテージ・インタープリテーション 生活デザイン論 観光資源開発論 観光資源マネジメント論
 行動経済学 観光産業DX発展 都市・交通デザイン 統計的意思決定論 国際メディア分析論 データベース論

環境と観光 景観デザイン学 地域マネジメント論 社会システム工学 パブリックスペース論 地域居住論

鍛錬科目 4単位
 観光ビジネス実践A 観光実践留学A 国際インターンシップA
 観光ビジネス実践B 観光実践留学B 国際インターンシップB
 観光ビジネス実践C 観光実践留学C 国際インターンシップC

確立科目 8単位
 融合研究 融合演習 融合試験

自主選択枠 10単位以上 【すべての専門教育科目から】

観光デザイン学類の学生に「VOICE」聞きました!!

質問内容

- ① 観光デザイン学類を選んだ理由は?
- ② 将来の夢は?



観光デザイン学類1年次
西川 凜さん
[石川県出身]

グローバルにまちづくり

① 高校では観光ビジネスについて学びました。そこで私たちでも観光を通して多くの課題を解決できることを知り、自分も観光やまちづくりを通して石川県の課題解決に取り組みたいと思ったことが入学のきっかけです。金沢は、観光地として国内だけでなく、世界からも注目されつつあります。そのような場所で観光やまちづくりについて学べることは貴重なことだと思い観光デザイン学類を選びました。また、観光デザイン学類では、国際インターンシップを行

うことができます。もともと国際関係に興味があり、国際的な視点を通して学びたいと考えていたため、国際インターンシップなどの留学を経て、外から日本について考える機会があることに心が惹かれました。
② まだ将来のことははっきりとは決まっていません。しかし、石川県で働き、新たなまちづくりを行いたいと考えています。また、自分の考えたプランを実現させ、誰もが取り残されないまちづくりを行いたいと考えています。



観光デザイン学類1年次
内山 大夢さん
[宮城県出身]

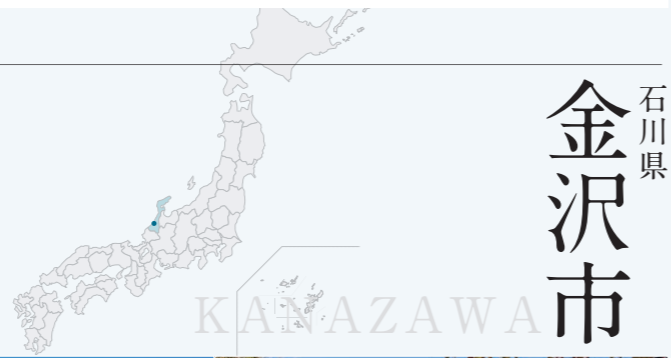
毎日が刺激の連続

① 幼い頃から周りの友人は将来の夢を持っていて、それに向かって努力していた一方で、自分は夢と言えるものを持っていませんでした。受験が近づいてきて将来について考えるようになりましたが、これといって決めることができず悩んでいました。色々な大学を調べているうちに文理両方を幅広く学べるこの学類の存在を知りました。他大学では一度入学してしまうとある程度進路が決まってしまうのですが、この学類なら入学してからでも色々な選択肢

が持てるというところに魅力を感じました。
② 自分にはまだ具体的な将来のプランがありません。本学でたくさんのことを学び吸収して、自分が1番興味があること、自分の1番したいことを見つけていきたいと考えています。この学類ならそれが可能だと思いますので、具体的な将来の計画を描けていない人や夢をまだ見つけていない人にもオススメです。

金沢ガイド

全国でも指折りの学術と観光資源を擁する文化都市・金沢は、現在も若者が増加し続けている住みやすく食べ物が美味しい街です。金沢の地で、そして最先端の知見と実績を展開している金沢大学で「自分を変えて、未来も変えて」みませんか？新しい知識との出会いが、挑戦できるチャンスが、地方創生の中核が、未来の科学の萌芽が、ここにあります。



[写真提供] 金沢市

スマート創成科学類(仮称)

Smart city × Science × Business

2023年4月 設置申請中

仮想と現実の融合を実装し、
イノベーションの創成をリードする

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

令和5(2023)年 4月 [設置申請中]

融合学域

スマート創成科学類(仮称)

School of Smart Technology and Innovation, College of Transdisciplinary Sciences for Innovation

我が国ではあらゆる意味で社会が変容し、従来の知識、制度、方法等が国力の維持や強化に耐えられなくなりつつあり、多様な脅威にさらされる立場となりました。中でも産業界は長期的な低迷から抜け出せず、「知」の融合による総合知と過去の成功体験に捉われない新たなイノベーションの創出が喫緊の課題です。そこで本学は文理融合を完成させるべく、仮想と現実の高度な融合を活用して持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する人材の育成に向け、融合学域に「スマート創成科学類」(仮称)の設置を申請しています。本学類では、ヘルスケアや生活の質の向上、技術や機能の社会実装、インフラや制度の発展等の科学進展を学修し、人と人が共創する未来の科学創成に挑みます。

【一般選抜】
前期日程(文系傾斜、理系傾斜)、
前期日程(文系一括、理系一括)

【特別選抜】
KUGS特別(総合型II、英語総合II)、
超然特別(A-lympiadI、超然文学)、
在外留学生推薦、社会人、帰国生徒、
国際バカロレア、私費外国人留学生

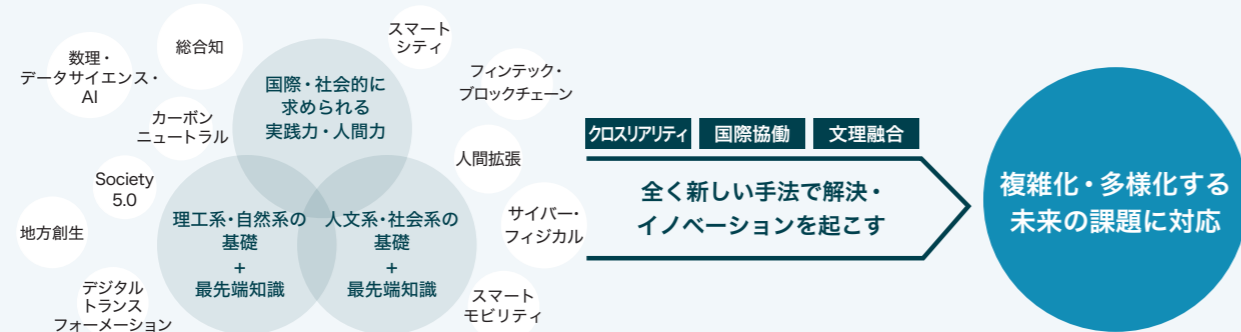
《スマート創成科学類(仮称)》の養成する人材像

地球規模で急速に起こっている社会の変容や技術の飛躍を的確に踏まえた上で、表出する多様な未来の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、仮想と現実の高度な融合を活用して持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する人材の養成を目指しています。

【求める人材】

スマート創成科学類(仮称)では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 多様な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を連携・融合し、未来に資する新たな科学創成に挑戦したい人



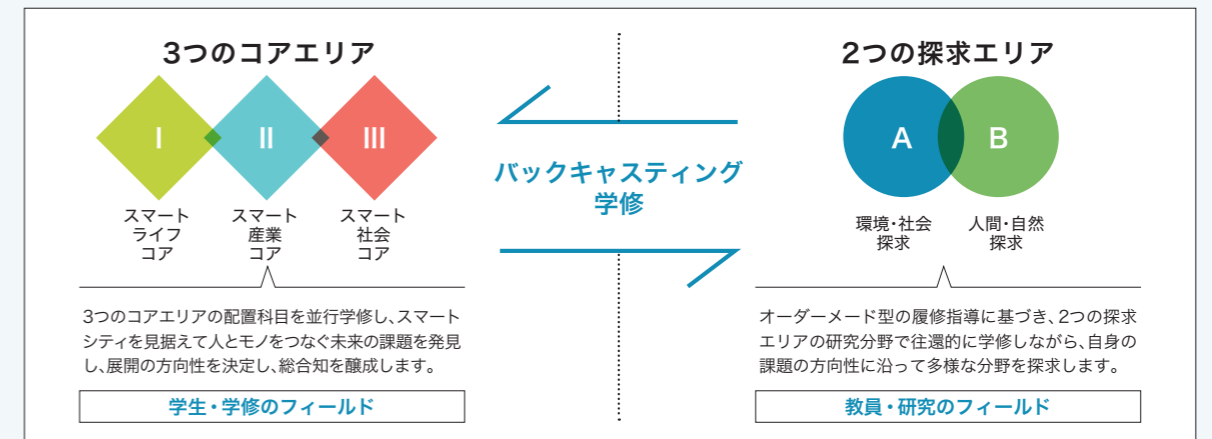
スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

1 柔軟に学ぼう！ 文理融合で基礎から応用まで専門知識を身に付ける

- ▶ 偏りのない文理融合プログラムのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。
- ▶ 3つのコアエリアと2つの探求エリアを往還的に学び、自己の「問い」を深化させます。

【コアエリア × 探求エリア】

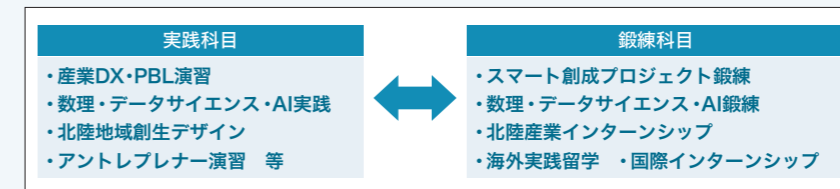
基礎から体系的に学修しながら、先端的な学びも横断して学修できるカリキュラム。



2 社会へ飛び出そう！ 多様なPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)学修で社会との共創や実装力を学ぶ

- ▶ 実践科目や鍛練科目を通じて、社会との共創を学びます。
- ▶ 専門知を基軸としながら、学生の自由な発想により、社会と共創した未来科学を創成します。
- ▶ スマート・リージョンを学び、労働生産性、多様と一体、域内総生産を北陸から展開します。
- ▶ 多様なスマート技術を端緒に全業界での産業DXを志向し、スマートシティの構築を担います。

【地域や産業界を見据えた体系的・実践的知見の獲得】



3 地方創生を考えよう！ 魅力ある未来のスマート創成を地域での産業振興に活かす

- ▶ 地域×本学×産業のシナジー効果を見据え、これからの地方創生をスマート化します。
- ▶ 地域の資源・課題・知見を活かして、思考・発想・実践を多面的に捉え、脱炭素社会での経済活性化、産業創出・振興及び未来の科学を学びます。
- ▶ 石川県・金沢市を端緒としたプラットフォームでソリューションを実装的に学びます。
- ▶ 漁業を含むスマート農林水産業や疾病・介護の予防を含む次世代ヘルスケアにも展開します。

【スマート創成科学による未来知の創造】

スマート創成科学の学修によって、スマートライフ・スマート産業・スマート社会を見据え、仮想と現実を融合するXR技術等を活用し、総合知で未来の科学を創成することにつながります。



写真提供:金沢市

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

スマート創成科学類(仮称)の特色

【6期科学技術・イノベーション基礎計画(2021年3月)】

我が国が目指す社会(Society 5.0)の実現に必要なものは、「①サイバー空間とフィジカル空間の融合による持続可能で強靱な社会への変革、②新たな社会を設計し、価値創造の源泉となる「知」の創造、③新たな社会を支える人材の育成」の3点

【科学技術・イノベーション基本法(2021年4月施行)】

人文・社会科学の振興とイノベーションの創出が法の振興対象に加えられ、科学技術の振興のみならず、社会的価値を生み出す人文・社会科学の「知」と自然科学の「知」の融合による「総合知」により、人間や社会の総合的理解と課題解決に資する政策と改編

これらの国の提言等を踏まえ、文理融合型教育やアントレプレナーシップ教育を体系的に行い、新たな「スマート創成科学」に取り組みます。

【専門教育マップ】

履修・指導アドバイザー
漸次増員による徹底した履修指導

学修の進度や自身の将来像を見渡しながらオーダーメイド型の学びの計画書を作成

基盤
ガイダンス

課題発見・解決モデル重視の
教育課程

課題の探査から探求、社会展開へと至る体系的な教育課程を履修

ダイバーシティ教育環境下での
実践的教育

多様な入試制度を用い、留学生や社会人も含めたダイバーシティ教育環境を構築

融合
ガイダンス

学域GS科目
本学域で共通の専門スキルを1年次に必修で学修

学域GS言語科目
本学域で共通の実践的な英語運用力を達成目標を持って必修で強化

基盤科目

スマート技術の基礎を学ぶ
知の飛躍に向けて必要となる科学技術の根幹と、未来課題に係る多面的な最新知見を学修

実践科目

社会展開を見据えたアントレプレナーシップの醸成に向け、スキルや発想力を獲得する科目を体系的に配置

探求
ガイダンス

スマートライフ スマート産業 スマート社会

学知科目
3つのコアエリアを往還的に学ぶ
1つのコアエリアに主軸を置きながら他コアエリアを往還して学修

演習等のグループワークにおいて留学生や社会人等、多様な背景を持つ他者との共創による課題探求を実践

確立
ガイダンス

鍛錬科目

7科目開講・4科目必修

産業インターンシップやプロジェクト鍛錬等の学修により実践力を練磨

確立科目

融合研究or融合演習or融合試験

スマートシティへの展開を強く意識した科学創成を学修

融合した専門知と鋭敏な飛躍知を併せ持つ未来科学創成人材へ！

【スマート創成科学類(仮称)卒業時に達成する学修成果】

- ・未来の科学を創成するための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ひと・もの・ことに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・総合知を背景に課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・スマート創成等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

【授与学位】

学士(学術)

多様な分野やシステムを総合的・統合的に学修したことを示す本学で本学域だけが授与する学位

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

未来の科学を背景に、スマートシティ構築への階層化した教育課程で、最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目 36単位以上

導入科目 | GS科目 | GS言語科目 | 基礎科目 | 自由履修科目

専門教育科目 88単位以上

学域GS科目 6単位 アカデミックスキル 数理・データサイエンス基礎及び演習 プレゼン・ディベート論 デザイン思考 イノベーション基礎

学域GS言語科目 2単位 学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語

専門基礎科目

実践科目 13単位以上
アントレプレナー基礎 産業DX・PBL演習Ⅰ 数理科学探求 スマートデバイス演習 プログラミングスキル プログラミングスキル実践
アントレプレナー演習Ⅰ 産業DX・PBL演習Ⅱ データ解析演習 北陸地域創生デザイン Webサイト設計基礎 アプリ開発
アントレプレナー演習Ⅱ 社会調査法 地方創生の課題と発見 数理・データサイエンス・AI実践 データ駆動型社会と産業

基盤科目 19単位以上
テクノロジー基礎 スマート創成化学とバイオロジー マーケティング論 社会変動と労働生産性 世界の課題と技術トレンド 金融工学 数理行動モデル基礎 北陸の農林水産・製造業
ファイナンス基礎 技術社会と倫理 北陸技術経営論 未来エネルギー創成 SDGs基礎 情報科学応用 スマートシステム制御 コンピュータとデジタル回路
ロボットイノベーション フィンテック基礎とビジネス応用 AIと未来社会 超スマートシティとSociety 5.0 IoT技術 社会と工学における最適化 北陸の都市・農村・文化 イノベーション・マネジメント

専門科目

学知科目 26単位以上
スマートライフコアエリア
先端医学 人間拡張とライフ 生活デザイン論 生活行動とアクティビティ 健康スポーツ栄養学 AI・IoT健康福祉学
未来医科学 地域の居住空間デザイン 超高齢社会と科学技術 未来型ヘルスケアシステム スマートウエルネス フィジカル・ブレイン接続
QOLとWell-being ヒューマンインターフェース 地域包括ケアと地方創生 人間工学 レギュラトリサイエンス ヘルステック

スマート産業コアエリア

スマート産業論 画像認識と機械学習 統計的学習理論 スマートシステム制御応用 産業とユニバーサルデザイン エナジーハーベスティング
消費者行動と社会 スマートセンシング デジタル生産工学 スマート資金とビジネス応用 拡張・リアリティ空間デザイン コンピュータと電子回路
実践データサイエンス カーボンニュートラル技術 知的財産法 自律ロボット 次世代情報通信 生産者の社会責任

スマート社会コアエリア

SDGs実践 Web・クチコミ社会動向分析 スマートモビリティと自動運転 エビデンスベース政策論 社会的合意形成論 スマートインフラマネジメント
実践スマートシティ論 デジタルエコノミーと地域展開 都市・交通デザイン デジタルツインと危機管理 低炭素社会 ネットワーク・メカニズムデザイン
ナショナルレジリエンス 都市・地域工学 社会システム工学 ソーシャルイノベーション スマートサプライチェーン フューチャーデザイン

鍛錬科目 4単位 北陸産業インターンシップⅠ スマート創成プロジェクト鍛錬Ⅱ 数理・データサイエンス・AI鍛錬 北陸産業インターンシップⅡ 海外実践留学 スマート創成プロジェクト鍛錬Ⅰ 国際インターンシップ

確立科目 8単位 融合研究 融合演習 融合試験

自主選択枠 10単位以上 【すべての専門教育科目から】

スマート創成科学類(仮称)は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。



[探求エリア 環境・社会]

全体最適な環境・社会の構造発展を探究

観光という切り口から新しい社会のデザインにチャレンジしましょう



経済学 佐無田 光
SAMUTA Hikaru

KEYWORD
地域経済学/内発的発展/
サステナビリティ/地域の価値/
地域の多様性

社会学的想像力とリサーチマインドで「観光」を科学しよう！



社会学 眞鍋 知子
MANABE Tomoko

KEYWORD
コミュニティ/ソーシャル・キャピタル/
まちづくり/市民協働/ワークショップ

「ひかり」に群れるな、「かがやき」を放て！
～真のアントレプレナーたるもの、来たれ



**グローバル
アントレプレナー論
リスタートアップ論** 松島 大輔
MATSUSHIMA Daisuke

KEYWORD
イノベーションの興し方/課題発見型学習/
方法としての新興アジア/世阿弥のプレゼン
道/ビヨンド・コロナ

インバウンドの対象は世界の70億人です



社会学 日比野 由利
HIBINO Yuri

KEYWORD
科学技術の倫理的・法的・社会的問題(ELSI) /
ジェンダー/家族・生殖・子ども

様々な企業や研究室の仲間とともに
イノベーション創出に挑戦しよう！



**イノベーション論
マーケティング論** 金間 大介
KANAMA Daisuke

KEYWORD
新製品開発プロセスの探究/ビジネスモデル
の立案・評価/企業の競争力の源泉/企業と
大学の連携/チャレンジ精神や創造性の源泉

世の中、自然、文化、環境、地球にツーリズムを通して貢献したい！
という志のある方



**ヘリテージ
インター
プリゼーション** 山田 菜緒子
YAMADA Naoko

KEYWORD
保全教育・コミュニケーション/インタープリ
テーション/持続可能な観光/旅行者行動/
ツアーガイドング

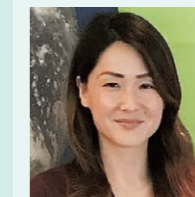
壁を越えよう！その先には新しい未来がある



**家政学・
生活科学** 尾島 恭子
OJIMA Kyoko

KEYWORD
消費生活/消費者教育/生活経営/
生活文化

自分が望む社会を創るための原動力に、自分になる



**持続可能な
発展** 河内 幾帆
KOUCHI Ikuho

KEYWORD
SDGs /環境問題/ソーシャルイノベーショ
ン/アクティブラーニング/環境教育

数理と実務の視点を学んで、自分も社会も変えていこう



ファイナンス 松本 拓史
MATSUMOTO Takuji

KEYWORD
エネルギー・ファイナンス/金融工学/オペ
レーションズ・リサーチ/エネルギー経済学
/統計モデリング/予測/電力市場

住民や観光者など多様な人と協力し、
社会や空間の問題をデザインの手で解決しよう！



**コミュニティ・
デザイン** 丸谷 耕太
MARUYA Kota

KEYWORD
都市デザイン/観光とまちづくり/
ランドスケープ/文化的景観/伝統工芸

金沢から世界へとイノベティブに羽ばたこう！



**応用言語学
高等教育** ダガン さがの
DUGGAN Sagano

KEYWORD
グローバルコミュニケーション/アカデミック
イングリッシュ/実践英語/海外留学

文系が理系の枠にはまらず、興味があること、
必要なことを自分でデザインして学んでいこう



**未来社会
デザイン** 中山 晶一郎
NAKAYAMA Shoichiro

KEYWORD
つながりとネットワーク/都市・地域デザイ
ン/スマートシティ/次世代モビリティ/
人々の移動と生活行動

起業家や科学者にとって何よりも大事なのは
人の心をつかむ能力である



哲学・倫理学 小田桐 拓志
ODAGIRI Takushi

KEYWORD
倫理/技術/環境/生命/映画

旅人も住人も居心地のよい社会を、ことばと文化を軸に、
共にデザインしませんか



**ことばと
コミュニケーション** 松田 真希子
MATSUDA Makiko

KEYWORD
観光と言語/言語的文化的多様性/
移民/留学/メディアリテラシー

自分の個性や能力を活かして力を尽くすための
知識や方法を学びませんか



環境科学 西脇 ゆり
NISHIWAKI Yuri

KEYWORD
環境/バイオマス/生分解性/セルロース/
透明な木

本学の学士課程の学生は学域・学類に所属しますが、教員は研究域・系や研究組織に所属します。
融合学域の専任教員は原則として、融合研究域融合科学系に所属し、全員から指導が受けられます。
ここに紹介の教員は一部であり、今後もさらに教員を増やし、教育内容を拡充していきます。



[探求エリア 人間・自然]

持続可能な人間・自然の基盤進化を探究

あらゆる学問の壁を取り払って融合させてこそ
未来の科学が始まる！



人間工学 **宮地 利明**
MIYATI Tosiaki

KEYWORD
健康・保健・医療／からだの中をうつします／
生体機能イメージング／MRI・CT・超音波・
近赤外光

イノベーションは、
意外な分野や未開の分野への技術の転用から始まる！



応用情報学 **佐藤 賢二**
SATOU Kenji

KEYWORD
機械学習／DNA配列／画像認識／文字列
の意味／動物の行動

新型コロナウイルス感染症を乗り越えた
新しい社会で活躍しよう



生体情報内科学 **大竹 茂樹**
OHTAKE Shigeki

KEYWORD
白血病／臨床研究／化学療法／臨床検査／
インターネット

観光デザイン学で次世代が選択できる
豊かな地域社会の実現を一緒に考えよう！



都市計画 **川澄 厚志**
KAWASUMI Atsushi

KEYWORD
観光まちづくり／コミュニティ開発／
地域資源／持続可能性／小規模住民組織

堅実な科学技術に基づいた起業が
日本そして世界の将来の繁栄につながる



がん診断・
治療学 **高松 博幸**
TAKAMATSU Hiroyuki

KEYWORD
がんと遺伝子／免疫療法／生物・医用工学／
ナノバイオプロセス／バイオリアクター

Think Big, Start Small, Learn Fast!



メディカル
イノベーション **米田 隆**
YONEDA Takashi

KEYWORD
予防医学・健康増進／デジタル医療(AI・
IoT・Big data)／医療政策／遠隔診療／
オンライン診療

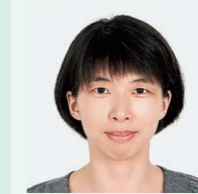
数理の力を活かし、
Society 5.0に向けた新たな観光をデザインしましょう



応用数学 **和田 啓吾**
WADA Keigo

KEYWORD
実データ解析／数値計算／統計学／
数理モデル／微分方程式

金沢から世界へ！世界の人の「健康」を一緒に考えてみませんか



社会医学 **石崎 有澄美**
ISHIZAKI Azumi

KEYWORD
国際保健／ウイルス感染症／疫学／
公衆衛生学／SDGs

研究休職：東京健康科学大学ベトナム附属病院

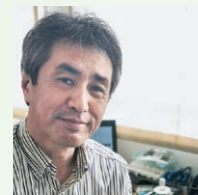
鳥の目・虫の目・魚の目・コウモリの目を鍛え、
縦横無尽に生きる力を養いませんか？



キャリア論
キャリア教育
文化人類学 **高沼 理恵**
TAKANUMA Rie

KEYWORD
異文化理解／自分の人生の方向性の検討／他
者との協働・対話／越境型教育／経験から学ぶ

世の中をより楽しく良くするため何をなすべきか、
分野の枠を超えて取り組みましょう



電子工学 **秋田 純一**
AKITA Junichi

KEYWORD
半導体／Make／ユーザインタフェース／
IoT

自分は文系とか理系とかの枠に取まらないと思う人は是非



人間情報学 **南保 英孝**
NAMBO Hidetaka

KEYWORD
人工知能／機械学習／IoT／センサ情報処
理／医療情報処理

様々な視点・解析手法を学び、
金沢の地で「旅行」についてじっくり考えてみませんか



交通計画学 **山口 裕通**
YAMAGUCHI Hiromichi

KEYWORD
長距離旅行行動／行動データ解析／
都市間交通ネットワーク設計／
データサイエンス

様々な分野が融合すると楽しいことが
たくさんあります！ぜひ先導学類へ！！



土木計画学 **藤生 慎**
FUJIIU Makoto

KEYWORD
交通・防災・まちづくり／まちなか観光・ク
ルーズ観光／医療ビッグデータ／インフラ
の維持管理／多種多様なビッグデータ

国際的視座にたち、誰もが安全にアクセスすることができ、
楽しむことのできる観光を実現しよう



公衆衛生学 **堤 敦朗**
TSUTSUMI Atsuro

KEYWORD
アクセシブル・ツーリズム／ウェルビーイング／
ソーシャル・デザイン／多様性と包括／国際

人が何かを創り出す時の「力」について考えていきます



創造性
芸術教育 **有賀 三夏**
ARIGA Minatsu

KEYWORD
アートセラピー／芸術教育／創造性／
多重知能理論／芸術思考／利他学

本学の学士課程の学生は学域・学類に所属しますが、教員は研究域・系や研究組織に所属します。
融合学域の専任教員は原則として、融合研究域融合科学系に所属し、全員から指導が受けられます。
ここに紹介の教員は一部であり、今後さらに教員を増やし、教育内容を拡充していきます。